

# オーストラリアのCMEおよびCUEに対する夏時間の影響

## 内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[背景説明](#)

[問題](#)

[解決方法](#)

[Cisco CallManager Express](#)

[Cisco Unity Express](#)

[関連情報](#)

## 概要

オーストラリアでの多くの州では、2006年にメルボルンで行われたコモンウェルスゲームズにより夏時間が変更されました。

オーストラリアでは、夏時間の終了が3月の最終週から4月の第1週に変更されました。この変更の影響は、夏時間の終了時刻が2006年3月26日(日曜日)午前3時ではなく、2006年4月2日(日曜日)午前3時になったことです。この変更は2006年だけに適用されます。

夏時間はオーストラリア国内の次の州に影響します。

- ビクトリア
- タスマニア
- サウスオーストラリア
- ニューサウスウェールズ
- オーストラリア首都特別地域 (ACT)

このドキュメントでは、Cisco CallManager Express および Cisco Unity Express に対する夏時間の変更の影響と、その回避策について説明します。

## 前提条件

### 要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

## 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco CallManager Express および Cisco Unity Express のすべてのバージョンに基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

## 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

## 背景説明

システム時刻リソースを使用するすべての Cisco CallManager Express および Cisco Unity Express アプリケーションは、この夏時間の変更の影響を受けます。アプリケーション サーバで手動による介入を行い、時刻を変更してこのイベントの影響を最小限に抑えることを強くお勧めします。

## 問題

ローカル時刻の変更に対応するため、Cisco CallManager Express および Cisco Unity Express のシステム時刻を調整します。システム時刻が調整されない場合、2006 年 3 月 26 日から 2006 年 4 月 2 日までの間は、システムが正確な時刻よりも 1 時間先の時刻で動作します。この場合、ログ ファイル、レポート、および表示機能での誤ったタイム スタンプや、クライアント サーバ同期での問題などが発生します。

## 解決方法

### Cisco CallManager Express

手動で Cisco CallManager Express の時刻を変更し、Cisco CallManager Express をネットワーク タイム プロトコル ( NTP ) サーバとして設定します。次の手順では例を示します。

1. オーストラリア メルボルンの時刻を変更します。

```
clock timezone est +11
clock summer-time pdt recurring
ntp server ip-address
```

2. 2006 年 4 月 2 日 ( 日曜日 ) 午前 3:00 ( 0300 ) 以降、これを次のように変更します。

```
clock timezone est +10
```

3. Cisco CallManager Express で次のコマンドを追加します ( Cisco CallManager Express を Cisco Unity Express の ntp master として設定 ) 。

```
ntp clock-period 17179371
ntp master
ntp update-calendar
ntp server 10.32.152.1
ntp server 171.68.10.80
ntp server 171.68.10.150
```

## Cisco Unity Express

Cisco CallManager Express を NTP サーバとして使用します。『[Cisco CallManager Express の手順](#)』のステップ 3 の例に基づき、次の出力例を使用して設定を行います。

```
ntp server 10.32.152.1
```

注：NM-Cisco Unity Express モジュールがルータに初めて挿入された場合、工場出荷時にインストールされたソフトウェアは、IP アドレッシングおよびその他の基本設定が行われる時点ですでに起動されています。ルータと Cisco Unity Express モジュールの両方で NTP 設定が完了したら、クロックを同期するためアプリケーションを再起動する必要があります。

## 関連情報

- [2010 年春の間の夏時間 \( DST \)](#)
- [2010 年秋の夏時間 \( DST \) のフォールバック](#)
- [2008 年のオーストラリアのサマータイム \( DST \) の変更](#)
- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声と IP 通信製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)